



山崎巨裕 議員  
(日本共産党)

**問** 大山小放課後倶楽部に  
支援を

市は今年度「放課後子ども教室推進事業」という新たな事業に踏み出した。地域の大人の協力を得て様々な文化を児童に提供する取り組み。事業の対象は菁莪地域だが、すでに実施している大山地域の「大山小放課後倶楽部」へもぜひ行政支援をお願いしたい。

**答** 大山小学校での実施を  
検討する

大山小学校でのNPO法人の活動は、学校・地域と一体となった貴重な地域活動と承知している。支援として、補正予算の編成は、緊急な案件について行うため難しい。今後は、菁莪小学校放課後子ども教室の実績を踏まえ、大山小学校での実施を検討していく。

**問** 大山地域の児童・生徒の  
減少に歯止めを

市は現在大山小学校の複式学級解消のため市費負担の教職員を2名配置している。大山地域の児童・生徒の減少に対して総合的な地域対策が検討された経緯はあるのか。子育て・教育環境の整備・充実が人口減少に歯止めをかける要の政策と考えるがいかがか。

**答** 地域の魅力向上に努め  
定住化を促したい

児童・生徒だけでなく、大山地域全体の活性化を図るため、学生や地域の方々と連携を図りながら、地域への愛着の醸成を目的とした取組を実施してきた。大山地域の魅力向上に努めることで定住化を促すとともに、大山小学校の教育環境の充実を図りたい。



遠藤 誠 議員  
(WAKABA)

**問** 企業誘致について

どこの市町村も行っている方法では、なかなか誘致がかなうとは思えません。都内に出て経団連でも経済同友会でも覚悟を決めて出かけたらどうか。また、提供できる土地は相続や世代交代の情報で調達可能性があるのではないかと。

**答** 多方面からの情報収集に  
努めたい

用地不足のため、新たなチャネルの開拓により、即座に企業誘致につなげることは難しいが、情報収集は重要と考える。今後は潜在的な産業用地についても、庁内関係部署や関係機関等、多方面からの情報収集に努めたい。

**問** 荒廃した農地の管理に  
ついて

前議会で地権者に、良好な管理を要請する通知を出すと聞いたが、進捗は。例えば、耕作が確実な法人をターゲットに社員向けに新鮮な農作物を現物支給するなど、新しい目的を持った耕作者を探したらいいのではないかと。

**答** 今後も継続して  
対応していく

一部区域で調査を行い、適切な管理がなされていない地権者に対して通知した。今後は別の区域に対しても通知する予定である。社員の福利厚生の一貫として、法人(企業等)が白岡産の農産物を利用していただけると、法人と農業者との橋渡しをしていく。

